

Y R P を産学官共同の生地に

横須賀リサーチパーク(YRP)は、我々、大学人にとって郵政省通信総合研究所のような国研や情報通信分野のトップ企業の研究機関の方々と研究ばかりでなく人的なヒューマンネットワークを構築できる産学官共同の生地となっています。

国際的なアクティビティを志向する日本人の一人として、私は今、我が国に何が欠け、何が勝っているかを認識し、遠い未来を見据えて、今何をすべきかを考える場としてYRPに期待しています。つまり、新しい試みを実験的に行える場所であり、空間、資金、人材の3拍子が揃ったYRPで何が出来るかが問われています。私もYRP研究開発協議会の中で多数の企画を提案し、その実行にも貢献しております。

例えば、研究会、国際ワークショップ、産学官シンポジウムなどの開催、講演にも協力して参りました。今後は、YRPの利点を活かし、成熟した研究者の集まりとしての活動ばかりでなく情報通信分野の将来を担う若手研究者・エンジニアの育成、自己啓発・再教育・リカレント教育、ベンチャービジネスの起業促進、アジアパシフィック地域の中核COEとしての国際貢献などに更に貢献する所存であります。

皆様方のご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

横浜国立大学工学部 電子情報工学科 教授
横須賀リサーチパーク研究開発協議会企画グループ委員 河野隆二

横須賀リサーチパーク研究開発協議会からのお知らせ

今回は、横須賀リサーチパーク研究開発協議会の主催で近々開催される国際移動通信シンポジウム(WPMC'99)と、7月に協議会会員を対象に実施した第4世代移動通信システムに関するアンケート調査について報告します。

WPMC'99 (Wireless Personal Multimedia Communications '99)

現在、全世界でIMT-2000等の名前で全世界共通陸上移動通信システムに関する研究開発が盛んに行われています。本ワークショップは、国内外を問わず実用化に近い移動通信技術に特化した共同研究開発を行う上での議論の場を提供していくことを目的に、郵政省通信総合研究所と横須賀リサーチパーク研究開発協議会が主催して開催されています。

第1回ワークショップは、昨年11月に横須賀リサーチパークにおいて開催されました。会議は、特別ミニワークショップ、基調講演、テクニカルセッション等で構成され、特別ワークショップではFRAMESプロジェクトの現在までの成果状況及び今後の展開についての9件の発表、基調講演においては今後のマルチメディア移動通信の将来展望に関する6件の講演、WCDMA、ITS等をタイトルとする16のテクニカルセッションでは83件の論文発表があり、日本、ドイツ、オランダ等より約220名が参加して熱心な研究討論が行われました。

WPMCは日本とヨーロッパで毎年交互に行われる予定で、第2回ワークショップは、来る9月21日~23日の3日間、オランダ、アムステルダムにおいて開催されます。前回ヨーロッパからプロジェクトの進行状況等が報告された経緯もあり、本会議においては特にアジア地域の最新の研究状況を報告するというを中心にしてセッションが構成されています。具体的には、会議は4件の基調講演、韓国、台湾、タイ、シンガポール等のアジア諸国において一線で研究をされている方々を招いてのアジア太平洋ワークショップ、成層圏プラットホーム・マルチメディア移動アクセスシステム(MMAC)・ITSという最新の研究状況に関する3つの特別セッション、及び16のテクニカルセッションが開催される予定です。

多くの方々のご参加をお願いいたします。(WPMC'99に関するお問い合わせ先は次頁のとおりです)

第4世代移動通信システムに関するアンケート調査

横須賀リサーチパーク研究開発協議会では、第3回総会において会員より承認された活動方針に基づき、第4世代移動通信システム研究・開発に向けたアプローチとして、移動通信の将来利用形態・研究ニーズに関する討論会・講演会などを、様々な分野・業界からの参加を求め開催していくことを計画しています。

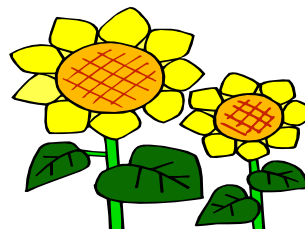
既に一部実施済みのももありますが、これからの実施計画作成のため、7月に会員企業を対象に、意見聴取が必要と思われる分野・業界、個人などについてアンケート調査を実施しました。調査の結果は今後の協議会企画グループ会議、幹事会等で検討していただき、逐次具体化していく計画ですが、要望の多かった分野・業界としては次のようなものが挙げられます。なお、講師としてご推薦いただける方があれば協議会事務局までご連絡ください。

- | | | |
|------------|----------------|---------------------|
| ・ 運輸、交通 | ・ 情報処理（画像、音声等） | ・ ネットワーク（特にインターネット） |
| ・ 放送 | ・ 移動通信事業者、メーカー | ・ アミューズメント産業 |
| ・ 流通 | ・ 医療 | ・ GIS（地理情報システム） |
| ・ 銀行、証券、保険 | ・ 自治体（防災、福祉） | ・ ITS |
- 等

なお、8月23日には、国立大蔵病院院長を講師にお迎えし、「医療から移動通信への期待」と題する講演会を開催いたしますので、多数ご聴講いただくようお願いいたします。

WPMC'99に関する問い合わせ先：

郵政省通信総合研究所
 横須賀無線通信研究センター 原田博司
 〒239-0847 横須賀市光の丘3-4
 TEL：0468-47-5074、FAX：0468-47-5089
 E-mail：harada@crl.co.jp

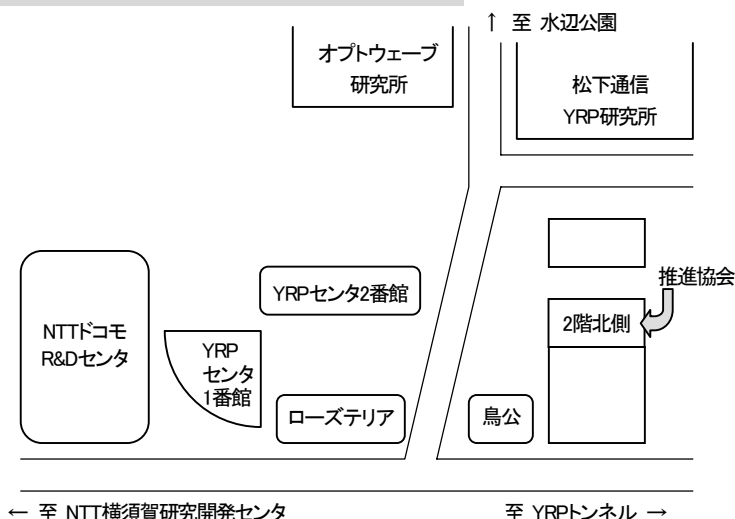


横須賀リサーチパーク推進協会からのお知らせ

前号でもお知らせしましたとおり、当協会は7月末に事務局を東京・品川からYRP域内に移転しました。（右図参照）

新しい住所、電話番号等は以下のとおりです。

〒239-0847
 神奈川県横須賀市光の丘5番
 TEL：0468-40-4100
 FAX：0468-40-4101



当協会は、横須賀リサーチパークの推進役として平成5年4月に設置された団体であり、YRP計画の総合調整、企業誘致活動、各種調査活動、広報活動を中心に業務を進めております。

平成11年8月1日現在の会員数は、103団体であり、研究開発機関のみならず、行政、コンサルタント、金融、ディベロッパー、ゼネコンなど、幅広い業種の会員で組織されています。これらの会員の総合力を結集した活動は、YRPを世界に誇れる研究開発拠点として構築していくために不可欠です。

研究所紹介コーナー

このコーナーでは、YRP地区に進出されている研究機関を毎回1～2機関取り上げて紹介します。今回は、(株)オプトウェーブ研究所です。

株オプトウェーブ研究所

当研究所は矢崎総業(株)を母体としており、社名「オプトウェーブ」のオプトとは光通信がらみの光技術を意味し、ウェーブはRadio Wave 無線応用を意味しており、それらを2本柱にした研究実用化を進める、人と自然・環境に配慮した情報通信研究所です。

当研究所は、敷地面積の半分以上を自然林が占め、平地山側にはビオトープ、道路との境界にはご存知の方も多いと思いますが、柵ではなく循環式の小川を設け、めだか等小魚を放流しています。太陽熱利用、太陽光発電、自然採光、雨水利用、草屋根など自然エネルギーの利用、省資源も考え、間接照明、高い天井、回廊、免震床など建物にも種々の工夫をとり入れ、“21世紀型”の研究所を目指しています。

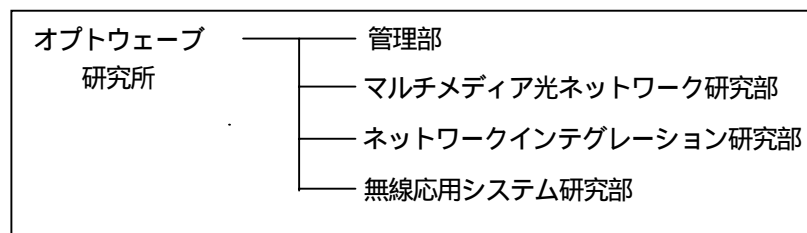


図1 オプトウェーブ研究所組織構成

当研究所は、図1に示すように管理部と3つの研究部で構成されています。以下にそれぞれの取り組みについて簡単に紹介致します。

マルチメディア光ネットワーク研究部

- ・主な研究課題
光ネットワークの研究
(光波ネットワーク、光・電波融合通信システム 等)
光通信基盤技術研究

ネットワークインテグレーション研究部

車の中でも家庭でも、情報を伝送する媒体に囚われないで、好きなときに大容量の情報を手に入れたい。そんな要求に応えるためのシステムなどの研究に取り組んでいます。

- ・主な研究課題
マルチメディア通信システムの研究
(IEEE1394 通信網の高信頼化、プラスチックファイバー用光リンク 等)
高速LANシステムの研究
(ギガビットLAN、列島縦断ギガビットネットワークへのIEEE1394 接続 等)

無線応用システム研究部

自動車でも安全・快適に移動することができるようになる、ITS(高度道路交通システム)の実現に不可欠な大量の情報を安全に送受するシステムをはじめとした、無線技術の研究開発に取り組んでいます。

- ・主な研究開発課題
ITSの実現に向けた要素技術の研究
(アンテナ、電波伝播特性、変復調技術、無線制御技術 等)
車載無線機器の実用化研究
(自動料金収受システム、キーレスエントリーシステム 等)

(本頁の紹介文は、(株)オプトウェーブ研究所よりご提供いただいたものです)

横須賀リサーチパークで予定されている当面のイベント

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が年内に開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細は、今後発行するYRPニュースやYRPホームページでご案内させていただきます。

開催日	イベント
8月23日	講演会「医療から移動通信への期待」(国立大蔵病院：開原成允院長)
8月25日	デジタル無線通信技術基礎講座(九州大学：赤岩芳彦教授)
9月6日	講演会「(仮)郵政省の国際協力とYRPへの期待」(郵政省国際協力課：山田俊之課長)
9月16日	野田郵政大臣視察
9月17日	米国バージニア工科大学ラパポート教授 講演会
9月18日	米国ジョージア工科大学トゥ教授 講演会
9月17日	URSI - F*会合 *国際電波科学連合F分科会
9月18日	ヨーロッパ現地調査団派遣
~10月1日	(横須賀リサーチパーク推進協会、横須賀リサーチパーク研究開発協議会会員を対象)
9月21日~23日	WPMC'99 於：オランダ
11月8日~12日	ITS世界大会(ITS研究開発実態調査)

株横須賀テレコムリサーチパークからのお知らせ

YRP第1回駅伝競走大会

自衛隊チームが1,2フィニッシュ!!

7月7日、元ワイ・アール・ピー移動通信基盤技術研究所(現ソニー)の岩切直彦氏を大会委員長とするYRP第1回駅伝競走大会が16チームの参加により開催された。当日はうす曇りとはいえ夏のまっ盛り。目いっぱいいた汗を終了後の懇親会のビールで補給し、成功裏のうちに終えることができました。

結果は、自衛隊チームが1,2フィニッシュ、3位に粟田ジョギング・クラブと外部からの参加者の健闘が目立ちましたが、出場全チームけがもなく、しかも全チームが完走で終えることができました。

出場選手の皆様大変お疲れ様でした。また大会運営にご協力いただいたスタッフの方々ご協力ありがとうございました。結果は次のとおりです。

1	34'3	チーム326 ポッカマン1号	武山自衛隊第1教育団
2	38'2	チーム326 ポッカマン2号	武山自衛隊第2教育団
3	40'1	粟田ジョギング・クラブ	地域
4	40'3	京浜急行	京浜急行
5	41'5	Panasonic ジョグザウルス・ジャガー	松下通信
6	43'4	Panasonic ジョグザウルス・イーグル	松下通信



(Mr.YRPコンテストのひとつコマ)

YRP夏祭り'99

7月30日うだるような暑さの中、YRP夏祭り'99が開催された。参加は主催者発表で700人。

ゲストに山崎ハコさんを迎え、かけつけた京急キャンペーンガールも加わり、ライブあり余興のMr.YRPコンテストありの楽しいひとときだった。屋台では定番の焼きそば、焼きとり、綿あめ、かき氷にバーベキュー、またYRPならではの水ぎょうざの販売に、ビールを片手に夜遅くまで盛り上がりしました。

当日は、あいにく朝から強い風が吹き荒れ、準備していたタコ焼きがうまく焼きあがらず、楽しみにされていた方に大変ご迷惑をおかけいたしました。この紙面をお借りしておわびを申し上げます。また、この日のために用意したスタッフジャンパーならぬハッピーも夏祭りの効果を高めるのに一役買いました。屋台の運営をお手伝いいただいたスタッフの皆様、暑い中大変ありがとうございました。

編集・発行 横須賀リサーチパーク推進協会

〒239-0847 横須賀市光の丘5 TEL:0468-40-4100 FAX:0468-40-4101

横須賀リサーチパーク研究開発協議会

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5008 FAX:0468-47-5010

株横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5000 FAX:0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp/>